

慶応三年六月十四日より慶応三年六月十七日まで

P8310691right

持遣す、関本(松盛)より坂地へ届書物托し越す、林(讓)、岩崎(孝)、佐藤(政)、岡本(龜)、田原(重)、長山(普)

水谷(竹)来り面す、桑野(松□)より転進賀として菜三十柄扇等贈り来る、井上(他州)より残品として上下地馬轡助贈り来る、且先夕の謝意鮮一折差越す、(霜□糖一折)相当の品酬(むく)う、藤児我

出立告別に来り一泊、花豆持来、且預り金百五拾円の内、五拾円受取度旨に付、渡し遣す十五日酉 晴 正午(九)五十度(撰氏十度)

宅調、山本(長)来り、昨夕招かる、石井(謙)、中西(龍)、川崎(勇)、花香(弘)、田中(平)、吉田(熊)来り面す、須崎より

かの女婚姻濟賀赤飯贈り来る、松平甲斐守参府、御禮濟挨拶として(馬代)白銀二枚、太刀一振贈り

越す、出役頭取、沢井(棟)内御用談にて、来り面す、番町藤児返し□来り、鯉節一折を贈らる藤児へ袖口地(紫縮緬)扇等遣す、伊藤(幸)□羊糕持来、町田(貢)も同伴にて花豆並□古小キビス

P8310691left

外一小品持来

十六日戌 陰晴、午下漸雲夕雷

須崎(恒)より桃一籠贈り来る、且同心頭の義猶申越す、竹内(蔵)より賀使者差越干鯛一折(二朱)贈らる右使者へ

賀三方遣す、伊勢両名(内状)直書届く、野田(謹)来り面す、松盛斎稽古に来る、出 殿、暑気に付

明日より第十時、御登城二時御退出の旨、五郎生来りし旨、上山(清)来り鶏卵一□持来せし旨礫川より昨招に応じ、太郎と同伴し享せらる

十七日亥 晴

仁井田(□)来り面す、出 殿、礫川より新生姜贈り越す、葛粉、鶏卵箱等昨夕の謝意として遣せし旨、藤山稽古に来りし旨、小笠原(伊勢)より転賀の使者差越、干鯛一折(二朱)贈らる右使者へ賀

□印は解読未了の文字です。私の実力ではすぐ解読できません。